

NSTによる心臓血管外科とのかかわりの成果♥

当院ではNSTと呼ばれる栄養管理サポート体制が非常に充実しており、心臓血管外科ではその恩恵を大いに受けております。NSTへの依頼が増えるにつれ、栄養管理は、個人レベルでの知識では不十分であり、専門的な知識や経験を持つエキスパートの手を借りることで、患者の状態改善に大きく貢献できることがわかってきました。

心臓血管外科の患者が受ける手術の侵襲は大きく、手術後の回復を図る為には、栄養管理は非常に重要です。また、人工弁、人工血管を使用する患者は、人工物への感染は是非とも避けなければならない問題であり、栄養を十分摂取できることは感染防止に大変役立つと考えております。幸い、心臓血管外科領域では、腸管を直接操作することがほとんどなく、術後早期の経管栄養ないしは経口摂取が可能になりやすいです。そのため、感染のリスクが高く、水分量が過剰になりやすい中心静脈カテーテルからの栄養をなるべく早く終了し、水分量が少なく、多くのカロリーを摂取できる、経口摂取または経鼻胃管からの栄養剤の投与に早期に切り替えていくことがよいと考えられています。しかし、下痢や嘔吐を繰り返す、心不全のため腸管の蠕動が弱く経腸栄養がすすまない等、栄養管理に難渋する症例もまれではありません。また、補助人工心臓を装着している患者や、それ以外でも術後長期リハビリを余儀なくされている患者がおり、十分なカロリーや栄養素が投与されているのかを評価することは難しい問題でした。そのような時に、NSTに栄養管理を依頼すると、患者の状況に応じて、栄養評価を行い、栄養管理が必要かどうかの判断から、その症例に最もふさわしい栄養管理法を選択し、指導助言を頂いております。

NSTの助言で改善した例を挙げます。下痢がひどく、心不全の水分管理に難渋していた患者に対して、下痢をしにくい栄養剤(MA-8)を紹介してもらい、下痢が治まり、水分管理が容易になり、十分なカロリーの投与が可能になった患者がいました。また、術後、誤嚥のリスクがあり、経口摂取ができず、経管栄養のまま長期リハビリを行っている患者に、筋力増強をはかれる為の分枝鎖アミノ酸配合の栄養剤(ヘパスII)を紹介して頂いております。NSTの栄養管理を受けることで、患者の回復力の改善、体力の維持に努められていると思います。今後、術前患者に管理を含めて栄養管理を行うことになれば、NSTの担う役割はさらに大きくなるものと考えられます。より積極的にNSTに介入してもらうことで、患者の救命率の改善を図れると考えています。



心臓血管外科
高橋悟朗先生

★平成22年度NST専門療法士臨床実施修練は無事終了！

他施設から管理栄養士3名 看護師3名 薬剤師3名参加

参加者の感想を一部ご紹介します

	管理栄養士 M.S	看護師 S.T	薬剤師 T.H
①何を学んだか ②何を感じたか ③何を考えたか ④実践にどう結びつけるか	①NSTを活性化するには効率的な方法を考え、多くのスタッフが患者さんの栄養に問題意識を持てるように行動し成果を上げていく事が重要だと学んだ。 ②栄養に対して問題意識をもつ方が多く、栄養療法への提案も素早いと感じました。特に病棟カンファレンスは素晴らしいと感じた。 ③栄養に対して問題意識を持つスタッフを増やす事を考えました。 ④薬剤と口腔ケアなど看護師以外の職種とも連携して勉強会を検討して行きたいと思った。	①NSTの役割を各病棟看護師から直接効くことができた。栄養管理、栄養療法の必要性を理解し意識して行くようにするためにはどう関わったら良いのか参考になることができた。 ②看護師が患者の抱える問題にいち早く気づき問題を取り上げようとする姿勢が大事だと思った。 ③主治に対する看護援助ばかり上げられ、栄養摂取量に対する計画が立案されないことが多いので栄養管理に対する看護の必要性に気づいてもらわなければいけないと思った。 ④栄養問題アセスメントシートや輸液カロリーシートなどを作成し誰がみても栄養管理上の問題が見いだせるシステムを作りたい	①東北大のNSTについては、病棟中心の栄養ケアを行っている事、 conu+ が誰にでもわかる指標であること、NSTは「運営する」事、入院時の検査などを組織として命令して居る。事などを学んだ。 ②病棟中心に栄養ケアやカンファレンスを行っている病棟では疾患の治療と栄養ケアが結びついている。「栄養ケアを行う」事が普通の事になっていると感じた。週1回の体重測定が問題抽出にすごく役立っていると思う。 ③NSTは活動というよりは栄養状態の確認がルーチン業務になること。医療者側の意識をそのように持つて行くのを目標にしなければいけないと思った。 ④薬剤師が栄養不良に気づけて何か手を打つ事も可能。今後は処方監査方法を見直す必要があると思う。こういった形でNSTに係わる方法もある

大学病院職員はNST専門療法士臨床実施修練を免除されます。「受験資格証明書」を発行してもらえますよ!!
みみよりな話

★平成22年度の研修会スケジュール

臨床大講堂17:30～

開催日	研修内容	講師
5月11日(火)	栄養管理をすると何がどう良くなるのか?	宮田 剛先生
7月13日(火)	いまどきの周術期管理ERASとはなにかを知る	宮田 剛先生
9月14日(火)	下痢を科学する	柴田 近先生
11月9日(火)	口腔ケア	丹田 奈緒子先生
1月18日(火)	胃瘻の管理	朝倉 徹先生
3月15日(火)	嚥下困難患者の栄養管理	瀬田 拓先生



文責:衣袋